

夢・努力・感動 ～生徒とともに～



いよいよ夏休み間近です。今回はこのたよりを通して、令和元年度1学期の人権に関するホームルーム活動や学校生活に関するアンケートについて振り返ってみたいと思います。

1年生人権に関するホームルーム活動

表題：「大切なものは」

1年生の人権に関するHR活動のテーマは「人間関係を円滑にするためのコミュニケーションのあり方を学ぶ」ことです。今回は、自分たちにとって生きていく上で「大切なものは」何か、グループワークを通して考えてもらいました。以下、HR活動で学んだことと、それに対する生徒の皆さんの意見・感想をまとめてみました。

・大切なものは (活動内容)

次のA～Jの10の項目を、自分が大切だと思う順に、「1」「2」というように順位をつけていきましょう。他にも大切だと思うものがあれば、項目を追加して、それにも順位をつけよう。

- [] A：自由
- [] B：健康
- [] C：友情
- [] D：平和な世界
- [] E：快適な生活
- [] F：裕福であること
- [] G：退屈しない生活
- [] H：人から認められること
- [] I：すべての人に平等なチャンスがあること
- [] J：自分の選んだ職業で、将来、一流になること



- ◇それを一番に選んだのはなぜですか。
- ◇それを下位だと考えたのはなぜですか。
- ◇みんなの意見を聴いて、メモをとろう。
- ◇グループで話し合った結果(まとまらなければ、みんなの意見で出たものをメモしておこう)
- ◇班の発表を聴いて、メモをとろう。

◇本時の感想 (生徒の皆さんの感想)

○私は自分のグループの人の話を聞いて、「友情」という項目が下位にあることに驚きました。私の中では「友情」が初めは1位にランクインしていました。でも、友達の話を聞いて「最近の悩みの種はずっと友達関係だ」ということに気付きました。友達がいなかったら、毎日本当につまらないものだと思います。でも、友達のことで毎日辛い思いをしなければならない、どうすればいいかわからなくなります。「友達がなくても生きていける」というグループの意見には賛成はできませんでしたが、いろいろな意見が聞けて良かったです。

○今日価値観について、グループやクラスで話し合いましたが、改めて自分と人の価値観は違うのだということがよくわかりました。先生も言われたとおり、自分と人の価値観は違うから、何かあった時、自分の価値観を相手に一方的に押し付けるのではなく、自分はこう思うけどと提案するようなかたちで相手に話すこと。そして、相手の意見をちゃんと受け入れつつ、自分の考えをしっかりと持つようにしようと思いました。どれが正解かとかは当然

ないし、これもあれも大切だというのが自分の中でもあったので、多くのことを大切に、人の意見も大切にしながら、生活していきたいです。

○今日のテーマにかかわらず、こういう話し合いの場は、今まで見えてこなかったことを友達の目になって考えたり客観的に自分を見つめ直せたりできるので、すごく大切な時間だと思いました。自由に考え、自分の意見を持ちそれを人に伝える力は、これから大人になっても必要になってくると思うので、そういう力をどんどん伸ばしてあげたらなと思いました。

○今日の授業をとおして、物事にはいろいろな見方があると気付かされました。それによって、人とは違う考え方をするとするのは、おかしくないと思いました。人とは違う考え方を持っていることで差別される人もいると思うので差別をせず、人権を守っていくことが大切だと思いました。

○大切なものはたくさんあるし、人それぞれだから、自分の大切なものをずっと大切にしたいと思います。人の大切なものは、私も大切にしたいし、人それぞれの大切なものを受け止められるようにしたいです。これからもずっと人とかかわって生きていくので、自分の考えだけでなく、人の考えを受け止め、尊重していくことが大切だと感じました。自分のことだけでなく、相手のことも考え、みんなが気持ちよく過ごせるように協力することを心がけ、これから生活していきたいです。

○いつもと違うメンバーでグループを作って話し合いをしたので、ほとんど初めて話すような人もいました。自分の意見を伝えるのは難しかったし、緊張もしたけど、グループの仲間たちがうなずいたりしながら話を聞いてくれたので、とても話しやすかったです。私もみんなもだんだんとクラスに馴染んできていいなと思うけど、そういう時こそ、人をからかったりしないようにしたいです。良いクラスにしていきたいです。自分も相手と意見が違ったりしても、そんな意見もあるのだなと思い、お互いの価値観を認め合えるようにしたいです。

皆さんの書いた感想を読んでいると、本当に熱心に自分以外の仲間の意見や考え方に耳を傾けていた様子が伝わってきます。人は一人ひとり異なる考え方を持っていることに改めて気づいたことでしょうか。さらに、自他の考え方、立場を尊重する大切さに気付いた人もたくさんいるようです。自分の考えを相手にはっきりと伝え、相手の気持ちを大切に話を聞くこと、これは様々な場面で活かされていくはずですよ。

今回の内容を受けて、2学期も人権に関するHR活動が実施されます。引き続き、周囲の仲間の気持ちを大切にしながらより良い人間関係を築くためにはどう行動すればよいか考えてみて下さい。

最後に

6月の中間試験終了後に、「いじめ・学校生活に関するアンケート」を行いました。目的は、「大社高校の皆さんが安心して学校生活を送ることができるようにすること」、「適切なコミュニケーションにより、お互いを理解し尊重し合う集団をつくること」です。今後も学期に1回ずつ実施する予定です。

さて、今回のアンケート結果で気になる点について1点だけコメントします。問6「学校生活において、差別的な言動を見聞きしたことがありますか」という問に対して、全校で15人の人が「ある」と答えていました。この結果を受けて事情を聞いたり、指導がなされたケースもあります。

相手が不快になるような差別的な言葉を学校生活で使うものではないということは誰もが知っているはずですよ。また、友達同士でも「イじる・イジられる」状態がエスカレートして、不適切な言葉を使うようなこともあってはなりません。日頃から学校生活の様々な場面で、お互いが気持ちよく過ごせるようなコミュニケーションをとるように心がけて欲しいと思います。また、このアンケートに関係なく、困ったことや問題があると思ったら、すぐに担任・部活動顧問・教科担当の先生などに相談して下さい。

7月8日、ふれあい委員の皆さんが県大会・全国大会応援メッセージボードを作成し昇降口前に設置しました。総体応援メッセージに引き続き、全校から寄せられたメッセージを読んでいると温かい気持ちになりました。皆さんは頑張っている人を応援するという、相手の良いところを認めて支えることのできる人たちなのです。それと同時に、集団の一員として、自分にできることを頑張ろうとする熱い思いの持ち主なのです。このような素晴らしい仲間と共に、お互いを高め合い、楽しく有意義な学校生活を送ってほしいと願っています。 (文責：重栖)